



さんびょう

三錨

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校

学校だより NO. 9

令和4年 5 月 30 日

●タブレットの使用について

よっかいし もんぶかがくしょう う だ ギ ガ こうそう さくねんど
四日市市においては、文部科学省が打ち出している「GIGA スクール構想」のもと、昨年度から
アイシーティー き き ひとり だいはいち げんざい かくきゅうしつ りよう じゅぎょう おこな
ICT機器(タブレット)が一人1台配置されました。現在、各教室でタブレットを利用した授業が行わ
れています。今後は、自宅へ持ち帰り、タブレットを利用した家庭学習も順次行われます。現在、
かくがっきゅう じゅんぴ はい かんせんしょうとう ちょうき きゅうぎょう さい かつよう
各学級でその準備に入っています。さらに、感染症等による長期の休業の際にもタブレットを活用し
て学習の保障を行うこともできます。そのために、以下の点についてご理解・ご協力、よろしくお願い
します。

- ◆ タブレット使用に関する『きまり』について、本日、子どもたちに各学級にて指導しました。保護者のみなさんも、ご確認ください。
- ◆ タブレットの持ち帰り頻度については、学年によって差があります。担任から指示が出ますので、そちらをご確認ください。
- ◆ 持ち帰り頻度が高い学年は、充電器を自宅に置いておきます。その他の学年は、学校のタブレット保管庫にて充電します。
- ◆ タブレットの持ち帰りには、「タブレットケース」を使用します。タブレットケースにタブレットを入れ、ランドセルの中に入れて持ち帰ります。以前から使用している「手提げのタブレット入れ」は教室で使用します。
- ◆ 「タブレットケース」にはなまえを書く場所がありません。なまえプレートも一緒に渡しました。各家庭でご記入いただき、ケースにつけてください。
- ◆ 今回の「タブレットケース」については、学校で一括購入しました。今後、破損や紛失された場合は、各自でご用意ください。

タブレットを利用した家庭学習に不安のあるお子さんもみえるかと思います。少しずつ慣れてくるとスムーズに学習できるようになります。心配事がありましたら、遠慮なくお尋ねください。

●メディア・リテラシー (3年^{ねん})

タブレットやスマートフォン、ゲーム機^きなど、子どもたちの周りにはインターネットに接続^{せつぞく}できる機械^{きかい}がたくさんあります。インターネットを正^{ただ}しく利用^{りよう}することで、たくさんのまなびを得^えることができますが、反対^{はんたい}に利用^{りよう}の仕方^{しかた}をまちがえると、人^{ひと}を傷^{きず}つけてしまったり、ときには自分^{じぶん}を傷^{きず}つけることになってしまったりします。そこで、インターネットの使用頻度^{しやうひんど}が増^ます3年生がメディア・リテラシーの学習^{がくしゅう}を行いました。講師^{こうし}は、三重県人権センターの中^なにある「ヒューリアみえ」の安田^{やすだ}さんでした。

人権^{じんけん}って何かな。人権^{じんけん}ってすべての人^{ひと}がもっている 幸^{しあわ}せに生きるためのものだよ

【人権^{じんけん}が大切に^{たいせつ}にされていると…】

- ・うれしいきもちになる
- ・べんきょうできる
- ・いやなことを言^いわれ^{ない}
- ・話^{はなし}をきいてもらえる
- ・ひみつはまもられる
- ・なかまはずれにならない



インターネットを使^{つか}うとどんなことができるかな



- ・メッセージのやり取り^とをする
- ・調^{しら}べる
- ・勉^{べん}強^{きやう}する
- ・投稿^{とうこう}する、発^{はつ}信^{しん}する
- ・場^ば所^{しょ}をさがす
- ・ビデオ通話^{つうわ}ができる
- ・ゲ-ムをする
- ・買^かい物^{もの}する
- ・動^{どう}画^がをみ^みる……

このようなやりとりのなかでも、「動^{どう}画^がをきちん^{たし}と確^みかめず^しに見^みていると、知^しらないうち^{ひと}に人^{きず}を傷^{きず}つけた^り、怖^{こわ}い思^{おも}いをさせたりする動^{どう}画^がにつな^しがること^{ひと}があるよ。」「知^しらない人^{ひと}から、あな^{こじんじょうほう}たの個^も人^り情^り信^りが漏^もれてしまうことがあるよ。」「急^{きゅう}に、知^しらない人^{ひと}から良^よくないこと^{きそ}に誘^{さそ}われたりすることがあるよ。」などと教^{おし}えてもらいました。さらに、「SNSのやりとりで、友^{とも}だちとの素^{すて}敵^きな関^{かん}係^{けい}が壊^{こわ}れてしまうこともたくさんあるよ。」とも知^しらせてもらいました。

使^{つか}い方^{かた}を誤^{あやま}ると、最^{さい}初^{しよ}に子^こどもたちと考^{かんが}えた「人^{じん}権^{けん}」が侵^{しん}害^{がい}されてしまうこと^きになります。いやな気^き持^もちになったり、秘^ひ密^{みつ}がばれたり、話^{はなし}が聞^きいてもらえなくなったり、なかまはずれになったり、勉^{べん}強^{きやう}できなくなったり…します。「正^{ただ}しく使^{つか}うこと」「困^{こま}ったらおとなに相^{そう}談^{だん}すること」を確^{かく}認^{にん}しました。ご家^か庭^{てい}でも、日^ひ頃^{ごろ}から、正^{ただ}しい使^し用^{よう}ができてい^はるか、把^は握^{あく}を願^{ねが}いします。